

## 産学官金で物流対策検討

### 30日、八戸市が初会合

# 2024年問題

#### 北奥羽の現場から

トラック運転手の時間外労働の規制強化で、物流停滞が懸念される「2024年問題」を受け、八戸市は30日、産学官金の関係者が一堂に会し、対策を考える

「八戸地域物流問題懇談会」の初会合を市内で開く。出席者は情報と認識の共有を図るとともに、物流維持と将来にわたり発展できる物流網の形成に向けた方策を検討する。市は懇談会で出された意見を参考に、課題解決を目指す事業の予算化につなげたい考えだ。市は本年度、商工課内の

グループを貿易・物流対策に名称変更し、24年問題に対応する専門部署を設置。

船舶や鉄道といった交通や物流の結節点である強みを生かし、複数の輸送手段を組み合わせた「モーダルコンビネーション」の推進に加え、物流事業者や荷主企業が行う生産性向上への支援などの取り組みを進めている。

市商工課は「今春から規制が強化され、徐々に影響が始まるはず。継続的に対策を講じていきたい」としている。

市は年明けにも第2回会合を開催し、次年度以降も継続していく方針だ。

懇談会に出席する行政以外の団体は次の通り。

▽産業Ⅱ青森県トラック協会三八支部、八戸港振興協会、J R貨物東北支社北東北支店

八戸商工会議所、八戸農協、県畜産・飼料コンビナート振興協会、八戸魚市場仲買人協同組合連合会▽大学Ⅱ八戸学院大地域経営学部▽金融Ⅱ八戸金融団

（工藤洋平）